慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	二〇一〇年度卒業論文題目
Sub Title	
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	2011
Jtitle	史学 (The historical science). Vol.80, No.2・3 (2011. 6) ,p.171(269)- 175(273)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	彙報
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-20110600-0171

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

二〇一〇年度卒業論文題目

〔日本史学専攻〕

記紀神話におけるヒルコ　伏見　亜衣
記紀の国譲り神話成立に見る政治的意図　高野　冴子
歌垣における婚姻の意義　山本　夏葉
古代の人々と鳥　佐谷　奈美
古代の人々と鐘の音　田川　雄一
古代敦賀と交通　大塚　奨太
陰陽師の実像と虚像　久米　貴子
中世における越後湯沢温泉の利用について　上田　恭平
天文十九年四月朔日令に関する一考察　永井　智博
中近世京都公家社会における葬祭文化の基礎的研究
—墓所を媒介とした寺檀関係に注目して—　的場　匠平
徳川家光政権による対キリシタン政策の再検討
—元和九年江戸大殉教とその影響—　大沼　淳司
江戸時代における女性の暮らし　澁澤　彩佳
近世の古典文学愛好について　鈴木　彩子
江戸時代における金魚飼育　巽　奈緒子
近世遊郭の歴史的意義
—江戸吉原と長崎丸山の比較—　田中　基博
近世日本人の朝鮮観　野村　香織
「近代」の日光東照宮評価
—学制発布以降の地理教科書を題材に—　石田　夢
国語国字問題—日本人の文字観と近代化—　髙田　直彦
明治初期における神葬祭の地域普及とその思想的背景　髙山　侑子
近代「日本人」の対外意識
—ノルマントン号事件に関する世論を中心に—　佐藤　史帆
西本願寺寺法成立について
—赤松連城と寺法編成会議—　小池　桃子
丙午地震騒動における大森・今村論争と関東大震災　竹内　夕季
玉川電気鉄道の事業展開について
—戦前期郊外交通に関する一考察—　三科　仁伸
石川武美と『主婦之友』
—近代女性の心をつかんだ出版人—　石原　彩圭
金融恐慌期における都市就業状況の問題点とその対策　新橋　信仁
「一九三五、六年の危機」における「艦隊派」の構想と海上護衛　古屋　亮仁
米内光政の第二次上海事変における不拡大方針の転換について　木村　尚裕
第二次世界大戦前後における知覧町の教育状況について　大谷　怜子
第二次世界大戦期の地方農村での教育実態の考察　豊島　有紗
BC級戦犯による平和運動の出現と消失　渡邊　良介
横浜のバス交通史　平瀬　雅弘

社会における学生野球の意義と評価　日下　裕介
戦後のパチンコ産業に関する一考察　青木　勇人

［東洋史学専攻］

千の仮面を持つ中国の神―「鬼神」　外所　英晃
中国古代の鉄製農具に関して　藤原　廉平
覇王と皇帝　増冨　和光
中国伝統医療理論による不老長生の追求　香山ゆいこ
愛と哀しみの三寸金蓮
―纏足、その美しき世界を探る　瀬戸佐和子
春秋時代の門攻めについて　山本　学
嘉靖大倭寇の発生要因について―王直を中心に　嘉山　智博
抗日戦争期の女性運動と宋慶齢　張　卓
咸豊・同治年間の雲南省西部における回民反乱
―大理政権の統治と軍隊規律　山﨑　泰
在日ビルマ人難民と日緬交流史　神谷　祐太
アイン・ジャールートの戦いの考察　本村　雅彦
一四世紀のイスラーム社会にコスモポリタンな社会が成立していたのか　浅野　拓也
変容するアラジン―ディズニーアニメ『アラジン』と原作の比較を通じて　伊佐敷桃子
独立から内戦までのレバノン経済の発展と衰退
―金融業と商業を中心に　沖野　洋平
一九七九年イラン革命後における女子就学率の驚異的向上について　酒井充穂子
ムハンマド・アリーによってエジプト社会にもたらされた変化について　千賀　拓朗
オラービー運動に見るエジプトの農民　藤野　泰行
ドイツに渡ったトルコ人　石田　衣
ウイグル民族独立運動
―二度の共和国の崩壊を通して　小川洋次郎
「父」の系譜から辿るマルコムX　佐藤　大貴
イスタンブルにおける新市街
―多様性と都市の発展　竹田　佳代
イスラエルは何処から来たのか
―パレスチナ問題はいかにして生まれたか　中村　晶人
一九世紀レバノンにおけるマロン派・ドゥルーズ派間のパワー・バランスの変化―エジプトによるシリア・レバノン統治（一八三一―一八四〇年）の影響　池田　聡史
蒸気船時代に翻弄されるオスマン海運事業の実態　内田　英徳
シオニズムにおけるテルアヴィヴ建設の意義
一九〇九～一九三三年　白浜　充

［西洋史学専攻］

コロンバとイースター論争―メロヴィング朝の聖職者との関係と当時の社会背景について　宇都宮　由貴
欧社会情勢から見る移住の背景とヴァイキングの姿　志賀祐太朗

王位継承から見るスコットランド王国の統合
―「ノルウェイのおとめ」の継承から　坂下　拓治
メリュジーヌ伝説
―伝説・民話への史学的アプローチ　山内　梢子
聖餐論争をめぐって
―ツウィングリ神学の形成とチューリッヒ　門井　寿通
近世初期イングランドにおける劇場建設と中世キリスト教劇の関係　竹嶋　華子
エリザベス一世と国教会―宗教条項「三十九箇条」における「中道」の意味　岩崎　詩織
グランド・ツアー
―その影響と歴史的意義について　山田　朋美
国境を越えるナショナリズムとアイデンティティー
―在英シーク教徒によるナショナリズムの展開　高野　聡子
西部開拓の女性史
フィッツジェラルドと二十世紀初頭のニューヨーク　荒川のぞみ
「バラ伝説」に見るフランス国民としての理想像　姉川　睦美
王立劇場から見る一九世紀マドリード　蔭山　千晴
フリーメイソンと一九世紀ラテンアメリカにおける独立との関係　川崎　由恵
ハナ・モアの目指した女性像　澤村　俊輔
ジャガイモ飢饉以降のアイルランド農業　須中　聡美
レアル・マドリーと都市マドリードの内戦　田原　和治
国家指導者、そして歴史家として―アントニオ・カノバスに見る一九世紀スペインの政治家の生き様　蛭田　和寛
スペイン・イスラムの共存の末のアルハンブラ　諸和　健郎
一四～一六世紀の想死表現に見られる変化とその背景　山本　愛
ルイ十四世と政治的シンボル　浅井　彩
非キリスト教化運動について　麻生　竜矢
一九二〇～一九三〇年代スペインにおけるフェミニズムと母性　川辺　栄美
出版統制局局長マルゼルブ　木内　文
フランス革命に立ち上がった女性たち　末廣　龍希
アンシァン・レジーム期の貧民観　仲村　磨美
マキャヴェリの心意、そして人間像に迫る　羽田悠美子
フランスにおける公教育の登場と経緯　船倉　由貴
一六世紀前半のフランスにおける書物の検閲　古川陽一郎
日本人の朝鮮観
―その系譜と幕末から明治初期にかけての変容　宮内　優貴
一九世紀プロイセン農村における家族の変化―近代化における家族の諸機能の解除と奉公人の離脱　浅岡　美里
ナチスとプロパガンダ―政権獲得から崩壊に至るまでの社会的機能と限界　千本　翠
戦前から戦後への保守主義の継承と変様
―吉田茂を中心として　名倉亥佐夫
ドイツ語史におけるルターの役割　河　志旼
　　中野　淳

経済復興と戦争責任
―アデナウアー政権における「過去の克服」　増山　豊
戦後ドイツの「過去の克服」と東ドイツの反西独キャンペーン　吉野　哲生
一九世紀前半のパリと民衆の世界　渡部　伊織
世紀転換期のイギリスとアジア　渡部　美佳
ノルベルト・エリアス『宮廷社会』はなぜ書かれたのか　阿賀谷洋亮
アレクシオス一世時代のビザンツ帝国財政
―通貨・税制改革による財政再建　新井祥太郎
教皇カリストゥス三世の親族主義　石関　高志
一二世紀フランスにおける女性の理想像と現実―特にクレティアン・ド・トノワとその作品を中心にして　石橋桃南
一九世紀ドイツにおける国民意識の拡大
―F・L・ヤーンの「体操家協会」を中心に　岩井　彩
ウイリアム・フィンドリーは「ウイスキー反乱」をどのように捉えたか―その著作からの分析　岡井　里紗
ファーガス・オコナー「土地会社」の意義―特にチャーティスト運動紙『ノーザン・スター』から見て　川副　皓史
全国産業復興庁長官ヒュー・S・ジョンソンから見たニューディール　高橋　陽介
ボニファティウス八世とフィリップ四世の対立におけるルイ九世列聖の意義　谷畑　有香
一九七三年のクーデター前後のチリ銅産業　中川　天海
ハプスブルク帝国の崩壊
―ナショナリズムと統治者のありかた　舟川　智子
排日移民法と早川雪舟　前島　知佳
ロシア映画監督ジガ・ヴェルトフの活動後期とそこに見るスターリンの要求　武藤いずみ
サガから見るアイスランドの初期社会
―特に『ニャールのサガ』を中心にして　湯浅　孝央

[民族学考古学専攻]

鯰絵は震災復興生活を反映するか　小倉　苑子
「漆塗イクパスイ」から読み解くアイヌと和人の交易史　甲斐　明子
戦前の東京におけるイレズミ逮捕者数及び風俗動向の考察
―統計書をもとにした先行研究の検証　木下　敬太
シチリアとジュファ
―アラブ頓知話の変容に見るシチリアの社会　久保絵美波
関東地方における戦国期城館の基礎的分析　阪本　哲平
ソロモンの螺旋はボブ・マーリーに流れるのか
―ジャマイカにおける聖書受容の研究　佐竹　隆一
イスラエル国エン・ゲヴ遺跡における調査隊別層位の対応関係
―二〇〇九―二〇一〇年度H地区出土土器群の型式学分析を中心に―　三戸　芽
ラベルデザインにみる泡盛産業の背景　関　拓也
明治期から大正期における〈冒険者〉の歴史からみる日本の南

洋群島進出　高橋万里生
SEM-EDSを用いた寛永通宝の成分組成分析
―前処理の段階と分析値との関係―　竹内　俊吾
マッチラベルに見る喫茶店形態の変遷―昭和初期と一九五〇―八〇年代の東京を対象として―　谷川　央羽
テンプロ・マジョール遺跡におけるネコ科遺体埋納形態の変遷　中嶋　芳
『瀬戸内技法』の定義に関する一考察　奈良　一世
失われた大陸言説の変遷
―疑似科学的言説の系譜関係を中心に―　西野園洋祐
シナゴーグ舗装モザイクから見る南レヴァントにおけるヘレニズムの影響の考察―ヘリオスとゾディアックサークルを通して　平形さゆみ
日本列島と朝鮮半島における角杯形土器の比較研究―器形と分布からみる倭国の角杯形土器の特徴―　松居　千晶
東海地方東部における前期・中期古墳の変遷　望月　俊
古代地中海世界の指輪の変遷
―大英博物館コレクションを基礎に―　森下　文華
『前野町式』をめぐる議論の現状　安田　脩一
日本におけるペルシア絨毯販売形態の変遷
―在日イラン人の本国との関係性―　山下　絢